

建交労 ひかい

2022年9月号
発行：建交労 No.222
岐阜農林建設連合支部
〒501-4234
郡上市八幡町五町1-4-15
電話 0575-67-1582

すべての労災・職業病の根絶をめざす



代理で賞状を受け取る岐阜県本部の森田執行委員

物価高騰、コロナ禍、 苦境な情勢に打ち勝つ組織強化を 建交労第24回定期大会 開催

建交労第24回定期大会が27日、28日に開催され、岐阜では畑中がZOOMで参加。「憲法を活かし、平和で公正な社会をつくろう 強くあたたかい労働組合運動を展開しよう」というスローガンのもとに行われました。

途中の討論で岐阜は神岡じん肺訴訟についてのことを話しました。勝訴したこと、13年に及ぶ闘いで支援いただいたことに感謝を述べると拍手をいただきました。そして三井金属鉱業がじん肺被害者に謝罪し、今後二度とじん肺を発症させないと約束するまで闘い続けると訴えました。

また、2022年の建交労機関紙コンクールでは審査員特別賞を頂きました。コロナ禍で特に組合と仲間をつなぐための機関紙が、賞を取る形でした。評価されたのは大変喜ばしいことです。

「第33回なくせじん肺全国キャラバン」を成功させよう!



2018年 キャラバン全国出陣式



2019年キャラバン東京行動

10月3日(月)〜
 10月26日(水)ま
 で、なくせじん肺全国
 キャラバンを実施し、
 全国47都道府県すべ
 てにおいて運動を展開
 します。

1990年の開始以
 降、今年は33回目を
 迎えます。じん肺とア
 スベスト被害全ての労
 災職業病の根絶を実現
 するために、省庁や自
 治体・労働局要請など
 を実施してきました。

コロナ感染拡大が続
 き、行動が制限されるこ
 ろもあります。キャ
 ラバン請願署名など全
 員で取り組んでいきま
 す。

行動日程

- | | | |
|-----------|-----------------------|-----------|
| 10/3 (月) | じん肺アスベスト被害全国一斉電話相談会 | |
| 10/4 (火) | 〃 | |
| 10/5 (水) | 〃 | |
| 10/18 (火) | 午前10時～11時 | 岐阜県要請 |
| 〃 | 午後1時～2時 | 岐阜労働局要請 |
| 〃 | 午後3時30分～4時30分 | 経産省(愛知)要請 |
| 10/25 (火) | 建物改修解体シンポジウム・東京集結報告集会 | |
| 10/26 (水) | 国会請願デモ | |

すごくく気になる「労災疾病臨床研究」

令和4年4月から、

「じん肺健康診断とじん肺管理区分決定の適切な実施に関する研究」が開始されました。この研究は国が委託したものです。これまでも「じん肺エックス線写真による診断制度向上に関する研究」(平成30年度)などが委託研究として行われました。

この研究の目的は?

公募要項には、「じん肺診査ハンドブック」の更新、若しくはこれに代わるテキストの作成、教育研修のための教材、周知啓発のためのパンフレット等の作成と記載されていることから、この研究が「じん肺診査ハ

ンドブック」の改訂に向けたものだとわかります。

「じん肺診査ハンドブック」とはどういった書籍でしょうか? 「じん肺診査ハンドブック」はじん肺の健康管理や療養、認定について詳細に記されたもので、じん肺に係る医師らの座右の書として大きな役割を果たしてきました。神岡じん肺訴訟で、被告側の証人として中央じん肺診査医であった木村清延医師が、「じん肺診査ハンドブック」について「バイブル」だと証言したことを思い出します。

なぜ改訂が必要なの?

公募要項をみると、医療の進展や医学的知見を踏ま

えて「じん肺診査ハンドブック」の精査及び更新が喫緊の課題だと記されています。

「じん肺診査ハンドブック」は昭和53年のじん肺法の改正に伴い作成されたものですが、けっして内容が古いということはありません。医学的知見に併せてその都度内容は追加されてきました。(肺がんを法廷合併症に加えるなど)

それなのに、なぜ今、改訂が必要なのか疑問です。

どのような改訂を行うの?

研究は開始されたばかりで、どのような改訂を行う予定なのか分かりません。ただ、今回の研究代表者は

芦澤和人教授(長崎大学大学院)です。「じん肺エックス線写真による制度向上に関する研究」の研究と同じです。そこから推測すると、この研究成果に基づいて改訂するのかもしれない。じん肺罹患の判断にCT検査を導入するというのも

です。先の研究でもCTの有効性は明らかになりました。そのようなCTを医学的な合意もないまま導入すれば、じん肺患者の切り捨てにつながりかねません。

私たちは注視します!

この研究が、「じん肺診査ハンドブック」の改悪になることのないよう、みんなで注視していきます。

2022年7月の活動報告

8/1	新規検査	@長森さのクリニック
8/2	第7回執行委員会	@郡上市文化センター
8/4	神岡じん肺訴訟 弁護団会議	@リモート参加
8/6	なくせじん肺全国キャラバン実行委員会	@リモート参加
8/10	じん肺検査	@長良医療センター
	神岡じん肺訴訟 原告団会議	@古川町中央公民館
8/18	新規検査	@久美愛病院
8/21	県本部執行委員会	@組合事務所
8/25	神岡じん肺訴訟闘争本部会議	@郡上市文化センター
8/27~28	建交労第24回定期大会	@リモート参加
8/31	トンネルじん肺根絶訴訟 第2回弁論	@東京地裁

2022年8月の予定

9/2	トンネルじん肺根絶訴訟 第3回弁論	@福井地裁
9/4	国民救援会全国交流会	@名古屋市
9/6	神岡じん肺訴訟 弁護団会議	@リモート参加
9/11	県本部執行委員会	@組合事務所
9/21	トンネルじん肺根絶訴訟 総会	@リモート参加

編集後記

コロナ感染が拡大している。組合員のみなさんに会えなくなつて本当に寂しい。さて、自宅まわりでも感染される方がぼつぼつ出てきた。悪いことに両隣のお爺さんとお婆さん(お二人とも90歳を超えてみえます)も感染した。田舎で医療機関も少ないためか自宅療養となつた。隣のお婆さんと家の母は、年も近く二人とも認知症仲間であつた。「大変なよ、お母さんがコロナ感染しちゃつた!お婆さん(母のこと)に近寄らないよう伝えてね。」とさつそく嫁のシゲちゃんから緊急連絡が入つた。母に伝えなければ、いかんせん認知症。「ネエさんが病気になる見舞つてこんといかん」と毎日はりきつてお隣に出かけようとして、そのたびに必死で止める。標語のように『こうひつき(お隣の屋号)に行つてはいけません』と書いて貼つてみたけれどダメ。2、3日後、隣からシゲちゃんの悲鳴が聞こえた。「お母さん、なにしたらんよ、出たらいかんの!」しばらくして疲れきつた声で電話が入つた。「鍵閉めたらね、1メートルぐらいの高さがあるのに、窓から裸足で脱走して畑で草取りしとつたの、猿みたいでしょ。もうわたしに死にそうよ。」認知症でコロナ対策なんて無理と、30分ぐらゐ電話で愚痴を言い合う嫁二人。

お婆さんとシゲちゃんの旦那さんは感染したけれど、お世話しまくつたシゲちゃんは感染しなかつた。「さすが看護師、りっぱ!」と褒めると「へへ、感染しないよう気合いを入れまくつた」とのことでした。